

K. S. C. Juntos **ニセコ中学校から練習試合の申し込み！**



4月17日、ニセコ中学校から申し出があり、ニセコ町民体育館で練習試合をおこないました。コロナ禍以来久しぶりの練習試合に、6人の選手と3人のサポートスタッフが集合。ニセコ中学校の中学生6人と熱戦を繰り広げました。

選手は個人技やチーム連携を思い起こしながら、楽しく有意義な練習になりました。感染対策もしっかりと行い、2週間からの体温測定や練習中のスポーツマスク着用、手指のアルコール消毒や体育館の換気を実施。

定期練習の再開も決まり、さらなる飛躍が期待できます。



精神科医 土田正一郎の



**その70 疲れた時に**

生きている以上、疲れないわけにはいかない。自分の場合を振り返ってみると、そんな時は怒りっぽくなっている。具体的には、意地悪を言ったり、上げ足をとったり、曲解が得意になる。他人の善意を皮肉ったり、嫌みを言ったり、舌打ちなんかも平気でしていたりする。あ～、やだやだ。

疲れないのは難しいので、少なくとも疲れていることには素早く気付いて、誰にも気付かれないうちに家に帰ることにしよう。疲れていたらできるかな？

お詫びと訂正 前84号「新役員にきく②」の中で、「今年度から理事になった高橋宏幸さん」とありますが、「前年度から～」の誤りです。お詫びして訂正いたします。

**各事業報告～4月現在**

障がい者就労支援事業所  
ワークショップようてい 契約/移行1人、B型21人

グループホーム  
よろこび 利用者数 20人

K. S. C. Juntos 当事者選手 9人  
サポートスタッフ 5人

◆法人会員 正会員20人  
賛助会員 団体4団体 個人58人

◆寄付物品 牛乳パック 食材(ほっけ、  
ネギ、ふき、タケノコ)

**編集後記**



大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の鎌倉時代、戦乱の世で命の危険にあった武士たちは「香道」をたしなんだそうです。香をたくことで緊張をほぐしたのでしょう。ストレスフルな現代、当時にあやかり香りを楽しんではいませんか？ 今回「開発秘話ヒストリア」で紹介したキャンドルとサシェがおすすめです。(かわさき)

**通信 ともに**

**第85号**

2022年5月9日発行  
認定NPO法人ともに

住所 〒044-0053  
北海道虻田郡倶知安町北3条西2丁目1-1  
でんわ (0136) 55-5828  
FAX (0136) 55-5829  
Eメール info@npo-tomoni.com

ホームページ <http://www.npo-tomoni.com> ブログ <http://blog.canpan.info/npotomoni/>

**今月の一枚**



一足早い桜の便り〜福岡県にて  
3月27日、WS利用者Oさん撮影

**道新取材受ける～黒千石豆**



**黒千石ネット販売好調**  
倶知安障害者事業所が無農薬栽培  
【倶知安】町の障害者就労支援事業所「ワークショップようてい」(北3条西2丁目)の利用者やボランティアが育てた黒千石豆のネット販売が好調で、無農薬栽培で出回る黒千石豆は、今年も販売が予定されている。利用者も「励みになる」と喜んでいる。  
同事業所は町の中心部、黒千石産地から徒歩10分の場所にあり、障害者就労支援事業所として活動している。黒千石豆のネット販売は、今年も販売が予定されている。利用者も「励みになる」と喜んでいる。  
同時に育てていた野菜が不作だったため、黒千石豆のネット販売は、今年も販売が予定されている。利用者も「励みになる」と喜んでいる。

4月13日、北海道新聞の加藤記者が来訪され、ワークショップようてい農業部で販売している黒千石豆の取材を受けました。

記者の方は、道新倶知安支局に毎号送っているこの「通信ともに」を読んで興味を持ったとのこと。1時間あまり栽培方法や苦労した点などを丁寧に聞いていました。

記事は4月19日の朝刊「小樽後志欄」に大きく掲載され、利用者は「新聞に載った」と喜んでいました。



黒千石豆のお買い求めは農産物販売サイト「食べチョク」が直接購入も可能。(事前に上記の電話番号に連絡してください) 無くなり次第販売を終了します。

## 続報 精神障がい者の通所交通費

第67号でお伝えした精神障がい者の交通費について、追跡取材をしました。この2年間でいくつもの動きが見られました。障がいを持つ方の社会進出がさらに進むことが期待されます。

### 助成の追い風 各地にも

羊蹄山麓の障がい者の通所事業所は大半が倶知安町にあるため、町外利用者は公共交通機関を利用しています。

近隣町村の通所交通費助成状況がどうなっているのか改めて調べたところ、上限額や利用回数を撤廃するところが増えました。

真狩村はバス運賃を半額から全額助成に、蘭越町は週2回だった回数上限を廃止しました（右表参照）。

社会生活の訓練を必要とし通所している障がい者の経済的負担を軽減することは、安心して訓練を受けられる環境づくりにつながります。各町村の助成がさらに進むことを期待しています。



### 精神割引を大臣が指示

☆北家連の広報誌より☆

昨年6月に国土交通省の大臣指示「新たなバリアフリーの取組」と題し、「官民連携による課題解決を図る」ことを発表しました。

これを受けて北海道運輸局でも、昨年8月に「移動等円滑化評価会議 北海道分科会」で話し合いがおこなわれました

身体障がい者や知的障がい者に比べ割引制度が不十分だった精神障がい者への制度拡充が期待されます。

羊蹄山麓 精神障がい者の通所交通費助成状況 令和4年4月現在  
○=全額助成 △=助成あるも上限等あり ×=助成なし  
赤字は前回取材時から改正した箇所

	助成状況	制度名・備考
倶知安町	×	重度障がい者のみ福祉ハイヤー（バス）のチケット交付
ニセコ町	△	心身障害者通所福祉手当 ※1回1000円まで、5000円を上限
喜茂別町	△	在宅障害者(児)施設通所交通費 ※バス料金、自家用車キロ20円のそれぞれ半額を助成
蘭越町	○	在宅障害者(児)施設通所交通費助成 ※JR、バス全額、自家用車キロ20円 ※令和3年度から回数上限を撤廃
京極町	△	在宅障害者施設通所交通費助成 ※施設で交通費支給されていない方が対象 バスのみ1/3を助成
共和町	×	重度障がい者のみタクシーチケット交付
岩内町	×	交通費助成制度はなし ※町内循環バス「ノッタライン」で障害者手帳を持っている方は無料
真狩村	○	障害者(児)施設通所交通費助成 ※バスは全額、自家用車は半額 (令和4年度から施行)
留寿都村	○	在宅障害者(児)等施設通所交通費助成 ※バスは全額、自家用車はキロ20円

### 新たなバリアフリーの取組

～国土交通省 昨年6月11日の発表より～

- ①障害者用ICカードの導入
- ②特急車両における車椅子用フリースペースの導入
- ③ウェブによる障害者用乗車船券等の予約・決済の実現（マイナポータルとの連携を含む）
- ④精神障害者割引の導入促進

障がい者就労支援事業所  
ワークショップようてい

## 開発秘話ヒストリア～キャンドル・サシェ

### キャンドル作りのきっかけ

若い人をターゲットに新たな商品開発をと、アロマキャンドルの試作を始めました。

はじめは家庭で眠っているろうそくを集めて溶かし製品にと思いましたが、実際やってみると仕上がりがきれいにいかない。ネットでいろいろ調べ、ワックス（ろう）を購入し香料を入れて作っています。

### 商品のこだわりポイント

キャンドルの芯は木材を使っています。芯にもワックスを塗って中の水分を閉じ込めることで、火をつけたときわずかに「パチパチ」と音が鳴るよう工夫しました。どうぞ耳をすまして聞いてみてくださいね。

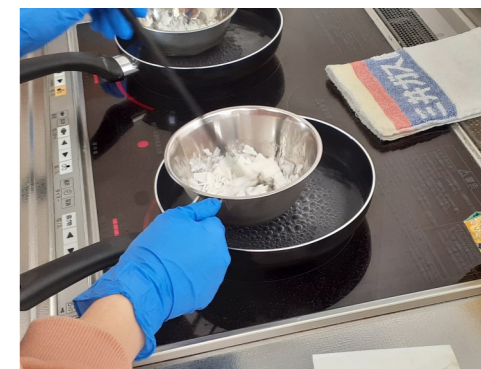
### サシェづくりに挑む

サシェとはフランス語で香り袋のこと。ドライフラワーを入れて可愛らしくしました。イメージに合うドライフラワーをネットで探し購入しています。

材料費が高くなってしまい、1個800円と価格を抑えることができないのが悩みどころです。

買っていただいたお客様から「職場のロッカーに掛け香りを楽しんでいる」というお声をいただきました。リラクゼーションとしてもぜひお試しください。

(話：かわむら)



アロマワックスサシェ…800円  
アロマキャンドル…缶650円、びん1,500円

熱湯を使ってワックスを溶かす

サシェにドライフラワーを飾る  
利用者の個性が光る作業です

お求めはコミュニティカフェ  
わつくわくにて（キャンドルは  
コースターつき）

新型コロナ  
予防対策  
COVID-19

## ともに の取組み～国や倶知安町などの補助活用



4月8日 厚生労働省が発行したポスター

◎ 国は、今年1月「新型コロナウイルス感染症に係る障害福祉サービス事業所等に対するサービス継続支援事業」を実施。当法人も申請し、3月に30万円の交付を受けました。

◎ また倶知安町や北海道からもマスクの助成を受け、利用者や職員の感染対策に活用しています。

◎ PCR検査は、倶知安町の福祉事業所・飲食店従事者対象としてこれまで2回おこないました。

また新型コロナウイルスワクチン接種も障がい者支援事業所の「職域接種」としてGH入居者と法人職員全員を対象に実施していただき安心して受けることができました。